

# シティズンシップを育てる新聞スクラップと投書活動

帝塚山大学 教育学部こども教育学科 德永加代

教育学部こども教育学科3年生 今西まどか 上村天音 大麻夏帆



## 【シティズンシップとは】

多様な価値観や文化で構成される社会において、個人が自己を守り、自己実現を図るとともに、よりよい社会の実現に寄与するという目的のために、社会の意思決定や運営の過程において、個人としての権利と義務を行使し、多様な関係者と積極的（アクティブに）関わろうとする資質

## 【シティズンシップを発揮するために必要な能力】

☆自己・他者・社会の状態や関係性を客観的・批判的に認識・理解するためのスキル

☆情報や知識を効果的に収集し、正しく理解・判断するためのスキル

☆他者とともに社会の中で、自分の意見を表明し、他者の意見を聞き、意思決定し、実行するためのスキル

経済産業省（2006年）「シティズンシップ教育宣言」より

## 【投書活動】

目的：自分の考えを言葉にして表現することにより、書く力を高める。

就職の際のエントリーシートや小論文を書く基礎を養う。

方法：新聞記事を読んで考えたこと、私の出来事・考えを日常のエピソードを入れて書く。各新聞社に投稿する。授業（国語科教育法など）において、互いの投書を読み合い、意見を交流する。掲載された投書は、まとめ冊子に振り返りとともに掲載する。

### 不審者から児童を守る覚悟

大学生 21

23年前、大阪教育大付属池田小学校で悲惨な事件があった。私が生まれる少し前のことだが、報道などで何度も取り上げられており、とても痛ましい事件だったことは知っている。

池田小では事件を教訓に児童の安全を守るために、「安全科」の授業が全学年を対象に行われているそうだ。児童が自分たちの学校で過去に起こった事件のことを知り、どう考えるか、危険が迫ったときにどう行動すればよいのかなどを学んでいるという。

児童に授業で教える安全科とは別に、教職員を対象とした不審者に対する対応訓練も池田小では行われている。以前、SNSで見たことがあるが、「絶対に同じような事件を起こさない」という覚悟を感じた。

こうした事件は今後、他校でも起こり得ると思うので、全国でこうした不審者対応訓練に本気で取り組むことが大切だと思う。（大阪府高石市）

産経新聞 談話室 ひこばえ俱楽部  
令和6年10月21日(月)

全国紙の一部に載ることは、自分の自信にもなるし本当に嬉しく思っています。（筆者の振り返り）

## 【新聞スクラップ】

目的：教育への興味・関心を高め、社会性を身につけて考える力を育成すること

方法：週1回のペースで、教育に関する新聞記事を切り抜いて、内容を要約、自分の考えたこと（感想・意見）を書く。

授業（ゼミナーレⅠなど）において、「新聞スクラップ」の記事を伝え合い、教育について意見を交流する。

### 私の見つけた教育に関する記事

学年番号（ ）名前（ ）

1. 新聞を読んで、1週間に一つ以上、教育に関する記事を切り抜く。  
→切り抜いた記事は裏面に貼る。

2. 新聞記事の中のキーワードなど、大切な言葉に赤線をつける。

読売新聞	2024年6月9日( )	朝刊( )面
見出し	児童が「安全」を守るために行動すべきこと	子どもたち全員が安全で安心できる

### 3. 読んだ記事を要約する（200字前後）

大阪教育大付属池田小学校では児童の安全確保に力を入れています。児童たちは毎日、安全教育の一環として「安全マニフェスト」を実践しています。児童たちは「安全マニフェスト」を実践することで、自分たちの安全を守るために行動すべきことを学んでいます。児童たちは「安全マニフェスト」を実践することで、自分たちの安全を守るために行動すべきことを学んでいます。

4. 記事を読んで、読んだ理由や読者（友達や家族）の意見も参考にして、自分の考えたこと（感想・意見）を書く。

この事件が起った時は、私はまだ子供だったので、報道でよく耳にしていた。児童たちは毎日、安全マニフェストを実践している。同じくうちは事件が二度と起らなければいいと願っています。児童たちは「安全マニフェスト」を実践することで、自分たちの安全を守るために行動すべきことを学んでいます。児童たちは「安全マニフェスト」を実践することで、自分たちの安全を守るために行動すべきことを学んでいます。

\*切り抜いた新聞記事を貼り付ける。（大きいときは折り曲げる。）

## 【新聞を活用した授業を考える】

新聞記事から素敵な人を見つけて紹介する。  
→キャリア教育



2018年4月21日(土)朝日新聞  
「ココ・シャネルの言葉」  
山口路子著を紹介する記事をもとに考えている。

